



「あなたも
あなたのすぐそばにいる人も
誰一人として
他に代えることができない
大切な存在」
ということを通して伝えたい。

建学の精神

本校は、「一人ひとりの子ども達がかけがえない存在として、神様に愛されていることを、教育を通して世界中の子ども達に知らせたい」というデア・テトロの意思から創立された学校です。

教育理念

自分の才能を十分に伸ばし、活かす教育によって、この世界への関心を広げ、自然・文化・歴史のうちに潜む業に感動し、一人ひとりが生かされている現実感謝・感動し、社会に貢献できる人を育成します。

教育方針



自ら学ぶ力

将来の夢の実現に向けて、学びを通して、知識や物の見方・考え方が広がっていくことを実感し、学ぶ楽しさを身につけ、主体的に学習する生徒を育てます。



共に生きる力

思いやりの心と奉仕の精神を持って、多くの人と積極的に関わり合いながら、活動を通して互いに認め合い、共に生きる楽しさが実感できる生徒を育てます。



健やかな心とからだ

強く、たくましい心、美しいものに感動する心、人の心の痛みがわかり相手を思いやる心を持つ、心身ともに健康でたくましい生徒を育てます。

保護者・地域の皆様へ



本学園では、幼・小・中一貫校としての特性を活かし、他者とコラボして学び合い、関わり合う関係を築き「協同的な学び」を教育活動の中に据え、子ども一人ひとりの「個性の伸長」に努めてまいります。

私たち教職員の願いは、子ども一人ひとりが自分の目標を立て自己実現を叶えることです。そして、個性を発揮しながら他者と協同して社会に貢献し奉仕する社会の実践者を育てることが学園の使命であると考えています。そして、教職員一人ひとりが子どもの育ちに寄り添い、レベルの高い教育を提供することで、子ども一人ひとりの豊かな可能性を引き出す努力を積み重ねてまいります。

郡山ザベリオ学園 小・中学校長 佐藤 祐也

一日の流れ



ザベリオ生の放課後スタイル

※生活スケジュールは一例です。

たとえば...
部活動に所属する
Aさんの場合

- 16:00～17:20 部活動
- 17:20～18:00 帰りの支度・下校
- 18:00 帰宅
- 18:10～19:00 宿題
- 19:00～20:30 夕飯・家族団らん
- 20:30～22:30 自主学习 趣味の時間 入浴など
- 22:30～ 就寝準備

ここがメリット
年間を通して
部活動が17:20まで

生徒代表の
コメント!



(公立小学校出身)

短時間
集中型の学習を
意識しています!

部活動は平日のうち3日だけなので、学習と部活の両立がしやすいです。学習でも部活動でも、集中して取り組むことで、短い時間を有効に使い、効率的に技術の習得や能力を向上させることができますようになりました。

たとえば...
部活動に無所属の
Bさんの場合

- 16:00～16:30 下校
- 16:30 帰宅
- 16:40～17:00 家のお手伝い 休憩
- 17:00～19:00 宿題・自主学习 習い事など
- 19:00～20:30 夕飯・家族団らん
- 20:30～22:30 自主学习・趣味の時間・入浴など
- 22:30～ 就寝準備

ここがメリット
高校進学や
将来に向けて
じっくり準備できます!

生徒代表の
コメント!



(公立小学校出身)

頑張りたいことに
時間を使えます!

放課後には、勉強をしたり、野球の練習をしたりしています。家に帰ったら、まずは忘れてしまう、やる気がなくなってしまう前に、やるべきことに取り掛かります。生活リズムを崩さないよう、自分で心がけています。

スクールバス運行

それぞれのニーズにあったコースを多数運行しています。

朝のコース

- 郡山駅(富久山・大町)
- 美術館通り(緑ヶ丘・文化通り)
- 咲田(並木・朝日・島)
- 富久山(富田・八山田・日和田)
- 安積町(コスモス通り・久留米)
- 日大(小原田・菜根・開成)
- 須賀川(須賀川駅・下宿・宮の社)

帰りのコース

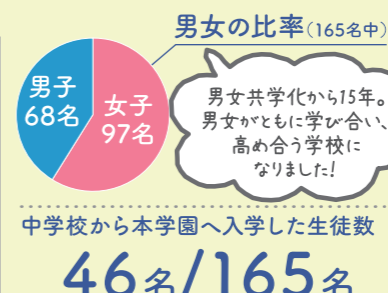
- 郡山駅
- さくら通り
- 咲田
- 富久山
- 安積町
- 日大
- 須賀川
- 部活A・B・C (部活動所属生徒のための運行バスです)



ザベリオ生の男女比と出身小学校

【2020年度以降の在校生の出身小学校】

地区	人数	
	2020年	2021年
県北(福島・二本松)	2名	0名
県中(郡山・須賀川・本宮)	38名	33名
県南(岩瀬・白河・石川)	13名	9名
会津	2名	2名
県外(東京・栃木・海外)	3名	1名
郡山ザベリオ学園小学校	111名	120名
全体数	169名	165名



公立小学校出身生徒の声

人見知りでなかなか話しかけられなかった私にも、ザベリオ小出身の友達は、明るく優しく、積極的に話しかけてくれたことが嬉しかったです。指導に熱心な先生方や楽しくコミュニケーションできる友達から、良い刺激をもらって過ごしている日々です。

私自身も、誰かのために行動できるようになりました!

